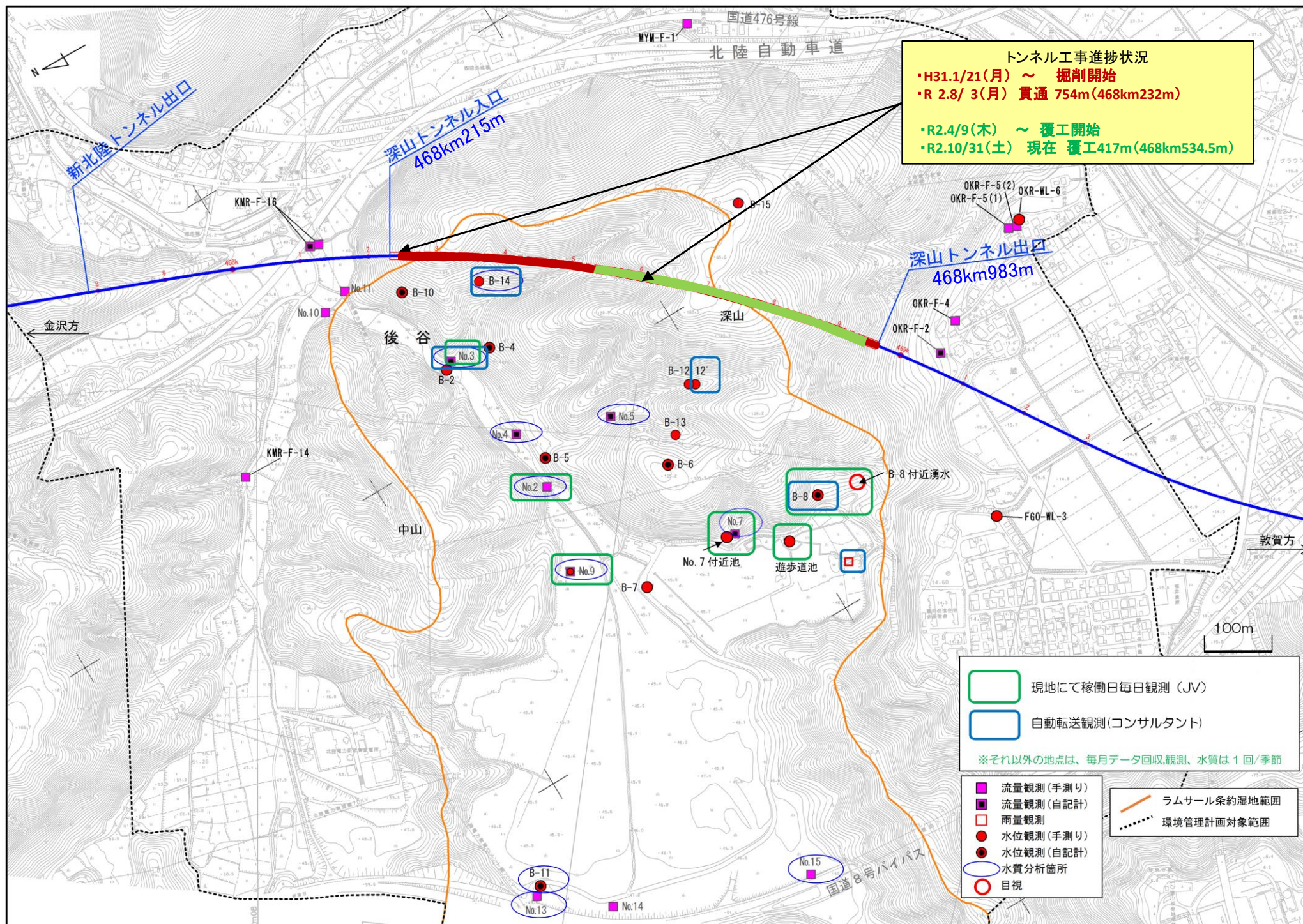


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和2年10月1日（木）～令和2年10月31日（土）

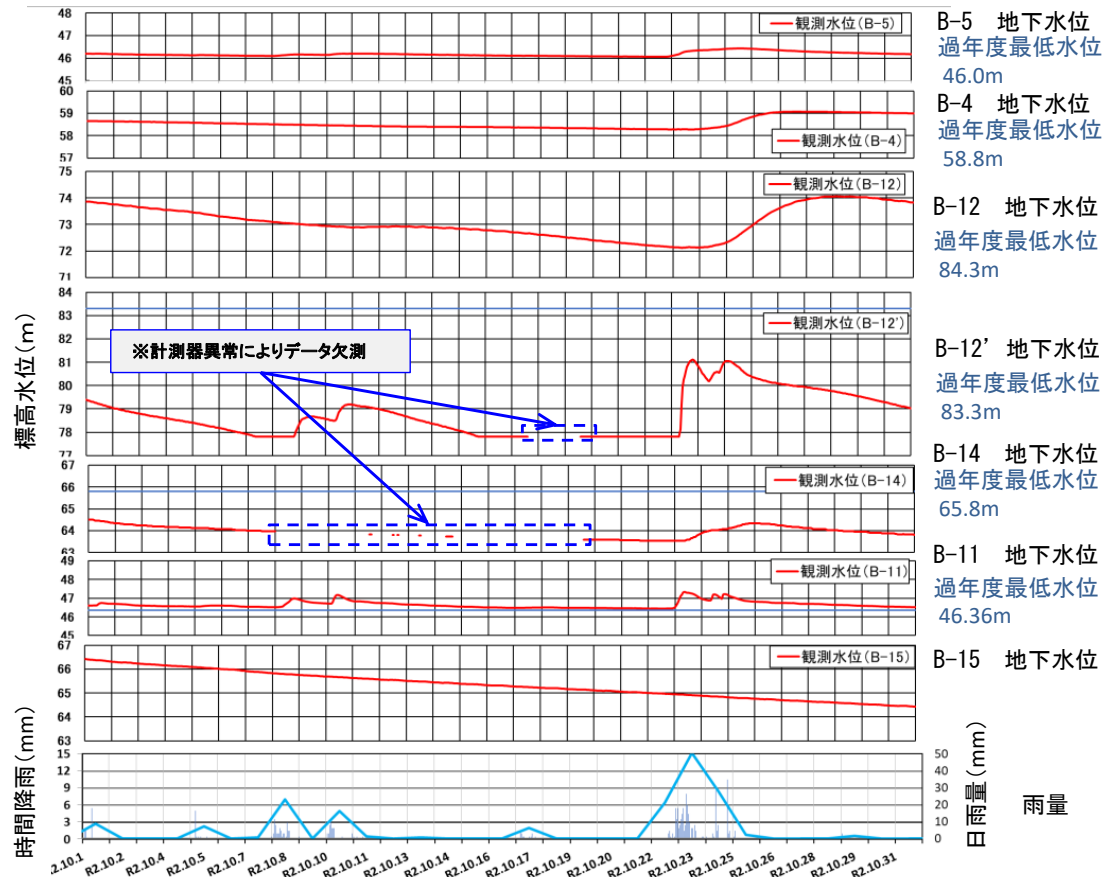
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



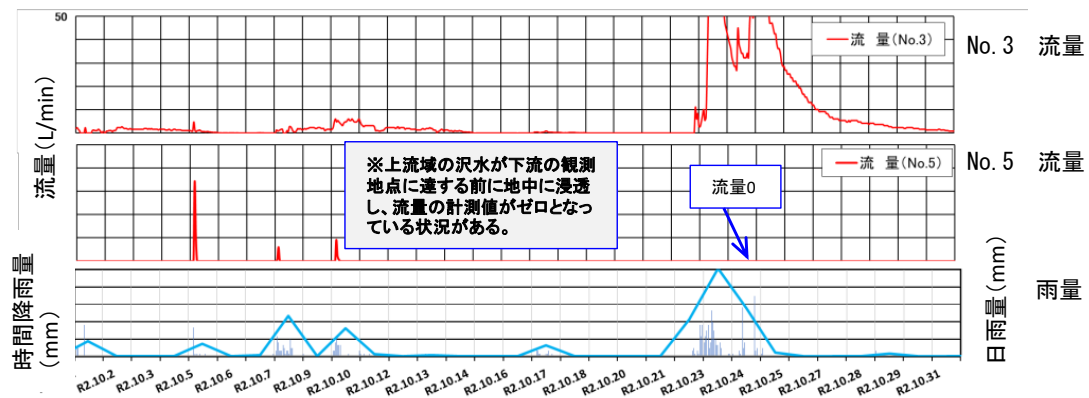
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり

□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加: 下記以外すべて

■2m未満 (B-12, 12', 15) □5m未満 □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加: すべて □50ℓ/分以上

期間中のpH変動量

■0.5未満: B-8, B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上: 4日 ■50mm以上: 1日

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4(自記水位計): 月下旬の降雨で過年度最低水位を上回りその状態が続く。
- ③B-12(自記水位計): 月中旬まで水位低下がみられ下旬の降雨で水位が上昇するも先月と同じように過年度最低値を下回っている(先月△10.4m⇒今月△10.5m)。⇒今後も注視する。なお、pHの値の変化はみられない。
- ④B-12'(自動転送): 期間中の降雨で上昇するも、過年度最低値(83.3m)を4.3m下回る水位を示す。今後も注視していく。
- ⑤B-14(自動転送): 月下旬の雨で水位上昇するも、過年度最低水位(65.8m)を2.0m下回る水位を示す。引き続き注視していく。
- ⑥B-15(自記水位計): 本期間で2m弱の水位低下がみられる。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
- ⑦No.3(自動転送): 期間通して流量がごく少量である。10/8, 10, 22~24の降雨で一時的に増大したが月末はほぼ降雨前と同じである。
- ⑧No.5(自記): 期間通して流量0となる。
⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。

■降水量について

- ①日最大降水量: 10/23の50.5mmである。
⇒9月の日最大降水量は81mmであった。
- ②月降水量: 165.0mmである。
⇒9月の月降水量は222.5mmであった。